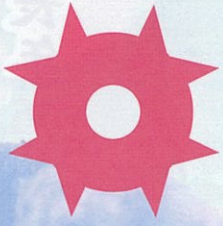


いかわ



議会 だより

No. **137**
2019. 1. 1

謹賀新年

12月議会 (会期・12月5日～7日)

年頭のあいさつ	2	全員協議会・意見交換会・陳情 ...	5
第4回定例会	3	4 議員一般質問	6
常任委員会	4	私のひとこと・議会のうごき	10

議長年頭あいさつ



共同参画社会をめざして

議長 藤田俊悦

新年あけましておめでとございます。

今年の5月1日は、皇太子さまの新天皇即位に伴い元号が改まります。

これにあやかり良い年でありますように願っています。

さて、我が町では昨年の4月より待望の県内初の義務教育学校が開校し各方面から注目を浴びており、開校のねらいどおりに児童生徒が育つことを願ってやみません。

また、「みなくる」も開設し、創意工夫を凝らした各種イベントなど実施し、利用者数は当初の目標を大きく上回っております。

両施設共スタートして日も浅い故に、関係者の方々の苦勞もひとしおかと思われませんが、英知を結集することで当初の目的に近づけるものと確信しております。

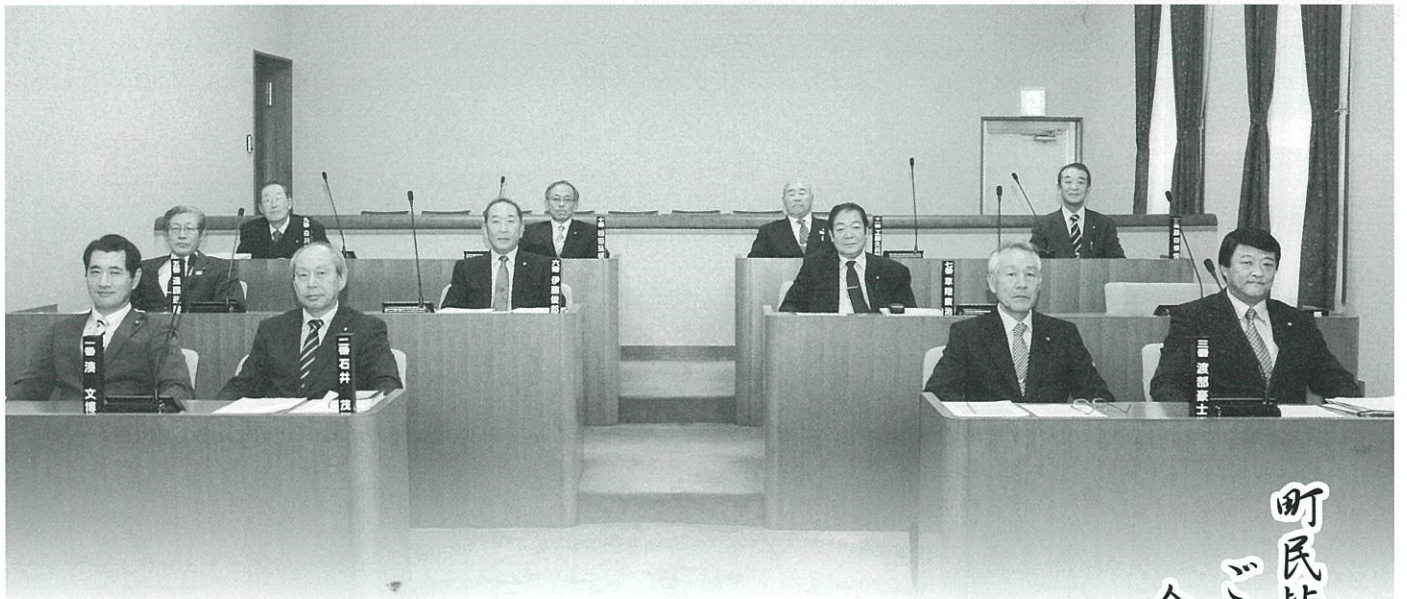
近年、国内外において頻繁に発生する豪雨による河川の氾濫、地震による崩壊、台風などによる被害は、人々に甚大な影響を及ぼすようになりました。

昨年本町では大きな被害を受けております。こうした自然災害の多くは地球温暖化によるもので、人による影響が極めて大きいと言われております。

こうした中、消防団、町内会、各種団体、行政などが連携し、災害時に向けての訓練を企画した町内が幾つかあったことは、個々の自主防災意識の高揚に結び付き望ましいことと思えます。

少子高齢化社会、人口減少による過疎化の中、これからの町づくりは、行政に任せるのみではなく、住民もまたこれまで以上に参画する共同社会が一層求められるのではないのでしょうか。

新年が穏やかで皆様にとりまして、夢と幸多き年でありますよう心からご祈念致しまして、新年のご挨拶といたします。



町民皆様のご健勝

ご多幸をお祈りします

今年もよろしく

お願いいたします



議長 藤田俊悦
副議長 工藤久兵衛
議員 湊文博

石井茂
渡部豪士
浅野義幸
遠藤政勝
伊藤俊郎
草階廣治
白川雅孝
松田弘咲
事務局長 菅生チヨミ

(議席順)

基金積立金等への追加補正

(財政調整基金・減債基金 総額9400万円)

第4回定例会は、3日間の会
期で開かれた。

秋田県市町村総合事務組合規
約の一部変更について及び、一
般会計・特別会計・水道事業会
計の補正予算等6件をそれぞれ
可決。陳情は1件を不採択、6
件を採択とし意見書を関係大臣
及び秋田県知事等へ提出するこ
ととした。

平成30年度一般会計補正は
1億700万円を追加し、累計
32億9,310万円とした。

歳出の主な内容は、例規整
備支援業務委託費183万
円、井川町議会議員補欠選挙
費227万円、道路補修工事
100万円、財政調整基金積立
金・減債基金積立金それぞれ
4,700万円を追加した。

歳入の主な財源は、前年度
繰越金7,393万円、過疎
地域自立促進特別事業債3,
170万円の追加とした。

地方債の変更は、過疎地域自
立促進特別事業、4,350万
円を7,520万円とし、計
4億5,320万円とした。

平成30年度 各会計歳出予算表 (補正)

(単位：万円)

会計名	補正額	補正後の額	主な内容
一般会計	1億700	32億9310	例規整備支援業務委託費 183
			財政調整基金積立金 4700
			減債基金積立金 4700
			井川町議会議員補欠選挙費 227
			県後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金 67
			道路補修工事 100
			義務教育学校エアコン設置工事 △ 64
			町民球場改修工事 77
			河川災害復旧工事 50
国民健康保険事業特別会計	5048	6億43	財政調整基金積立金 5000
介護保険事業特別会計 (総額変更なし)	0	9億15	居宅介護サービス給付費 △2040
			施設介護サービス給付費 1500
			高額介護サービス費 200
			特定入所者サービス費 200
			介護予防・生活支援サービス事業費 120
			介護予防ケアマネジメント事業費 20
後期高齢者医療特別会計	259	5429	後期高齢者医療広域連合納付金 259
水道事業会計	175	1億236	重機借上料 100
			施設維持修繕費 20
			人件費 55

除雪への態勢は万全に

委員会審査の主な内容

総務課

問 庁舎内の電波時計は何台あるか。

答 子時計の設置個所は21台である。

問 紙の例規集の中身の加除は、更新しているものとしていないものがあるため、パソコンで見ると言われたことがある。紙で残る例規集も必要と考えるが。

答 現在、例規集はWE B上に挙げているもの

みであり、紙は以前に止めている。

問 過疎債は、必要な他

町村の連絡道路などにも計画変更して追加出来るか。

答 過疎債の発効要件に合い、必要なものであれば計画を変更し起債の手続きを取ることはあり得る。

産業課

問 道路舗装工事の件で、町民より指摘されて



入居が待たれる町営住宅

いる穴ぼこの箇所は、10〜15カ所の修繕で全て出来るか。

答 穴ぼこは2カ所を確認しており、今後の分も見込んで10〜15カ所と考えている。補正額30万円は、今後の追加分もみている。

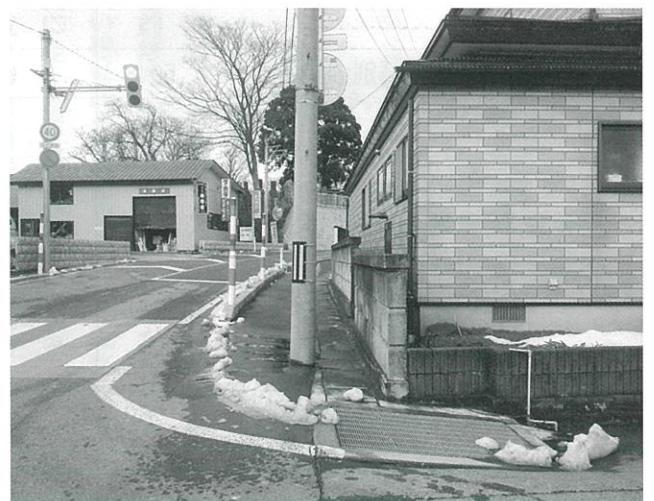
問 町営住宅は、毎回同じ住宅に募集がかかっているがなぜか。

答 需要がないからか、老朽化に伴ってなのか判断は出来ないが、羽立住宅3カ月位、街道住宅が2棟、申し込みのない状態となっている。

問 除雪の問題で、各町内よりどのような要望があったか。

答 交差点部分の段差解消と、同じく交差点部分に堆積した雪で見通しが悪くなっていることの解消である。また分館前の除雪の要望も数件あった。

問 坂本十字路前の坂は学校通学路になっている



移設が望まれる通学路電柱

が、その歩道の真ん中に電柱が一本立っていることを県と協議しているか。

答 拡幅工事時、向かい側に移設してもらえないか県に話はしたが、全体的な事業費の中で移設は難しく、現状のままとなっている。

町民課

問 除雪機は何台貸し出ししているか。

答 毎年3台中1台であり、この1〜2年は特定の方が利用している。

問 後期高齢の加入者は何人いるか。

答 約1,050人である。

教育委員会

問 野球場は毎年改修工事をしていくが、これ

今後地盤沈下が収まるか。
答 地盤沈下が収まるとは考えられないが、雨が降った時の土の流れを抑えるためのブロックを敷く工事内容である。



井川町議会だよりについて
 町民の皆さんが見やすい広報づくりを目指し、ルールの統一などを協議した。

協議会案件

第3回 議会全員協議会・意見交換会
 10月22日

意見交換会案件

議員定数について

議員の意見を出し合い、今後意見交換の機会を設けていくこととした。

■ 町が自立の道を選択した際に財政が厳しくなると予想され、平成20年より議員16名から12名に減らし、報酬も10%カットし現在に至る。

■ 2期連続無投票なので定数について住民から話が出ています。

■ 若い世代がくらしにくい報酬に上げる訳にもいかない。土日、夜の議会も考えるべきか。

■ 今、10人に減らすのは時期尚早。人口が4千人を下回る時考えるべき。

■ 人口だけで定数を決めてよいのか。いまの12人でどうして悪いか。何で議会があるのか。議会の仕事は何なのか。いろんな意見を出し合って決めるべき。

■ 10年経っても交付税とか変わらないのでカットした10%を元に戻すか、逆に報酬を上げて立候補しやすくするべき。

■ 住民がどのように思っているのかアンケートなどを考えるべき。

■ このような意見が出され今後もこういう機会をつくり意見を絞っていくこととした。

(2018年6月1日現在)

県内町村名	推計人数	議員定数
小坂町	5,010	12
上小阿仁村	2,184	8
藤里町	3,121	10
三種町	16,122	16
八峰町	6,841	12
五城目町	8,864	14
八郎潟町	5,798	12
井川町	4,722	12
大潟村	3,062	12
美郷町	19,382	16
羽後町	14,355	16
東成瀬村	2,527	10

(秋田県月報より)

第2回井川町議会臨時会

11月12日開催した。

陳情

12月定例会に7件の陳情書が提出され、審査の結果1件を不採択、6件を採択とし、関係機関に意見書を提出した。

不採択…………… 全員一致

◎陳情 食糧の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本的見直しが必要です

生き物共生農業を進める会

代表 今野茂樹

美しい八郎湖を次代に残す会

代表 桑原秀夫

(有)ライスランド大潟

代表 山田隆介

採択…………… 全員一致

◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善と大幅増員のため国に対し意見書の提出を求める陳情

秋田県医療労働組合連合会

執行委員長 渋谷一

採択…………… 全員一致

◎「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める陳情

秋田県医療労働組合連合会

執行委員長 渋谷一

採択…………… 全員一致

◎看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設のため国に対し意見書を求める陳情書

秋田県医療労働組合連合会

執行委員長 渋谷一

採択…………… 全員一致

◎75歳以上の後期高齢者医療自己負担を2割にしないことを国に求める陳情書

秋田県社会保険推進協議会

会長 渡辺淳

全日本年金者組合秋田県本部

執行委員長 大坂谷邦雄

採択…………… 全員一致

◎介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善等を国に求める陳情書

秋田県社会保険推進協議会

会長 渡辺淳

採択…………… 全員一致

◎パーキンソン病(難病)対策の充実を求める陳情書

全国パーキンソン病友の会秋田県支部

支部長 佐藤實

一般質問

教職員の時間外勤務時間は 月45時間以内が目標



いしげろ
石井 茂
議員

石井 教職員の長時間労働は正のため国が重い腰を上げようとしている。

未来を担う子どもたちに希望を与える現場だからこそ、いきいきとした教職員の姿を見せてあげないといけない。教職員の健康や心に余裕があつて初めて子どもたちとの信頼関係がつけられるのであり、その土台なしに教育は成り立たないと考える。

現状の教職員の時間外労働時間は。

教員 教職員の長時間労働が常態化してきて、働き方改革は喫緊の課題になっている。「子どもたちのため」を理由にし、教職員の役割や仕事に際限なく広がっている。

くという風土が一因になつているのではないかと思う。

教職員30名の平均で、9月は59時間、10月で48時間の勤務実態だ。

石井 月45時間以内を目標としている。早朝出勤している人が多いようだが、勤務時間に反映されているか。

教員 9月からタイムレコーダーによる集計を始めている。出校から退校までの時間で計算している。

石井 変形労働時間制は給特法の二の舞になるのではと危惧している。教育長の考えはどうか。

教員 秋大付 属小・中学校で導入している。賛否両方の意見がある。議論の推移を見守りたい。



授業の一コマ

臨時職員の待遇改善を 新制度施行で大きく変わる

石井 総務課9人、町民課23人、産業課11人、教育委員会15人、計58人が臨時職員として働いている。この数をどう見ているか。

町長 町直営の施設が多々、施設管理に多くの臨時職員をあてている。事務補助員は少ない。

- 多忙化防止計画 井川町教育委員会平成30年6月
- 運動部活動のガイドライン
休養日は、平日1日、土日1日以上とする。学期中の活動時間は、平日で2時間程度、土日は3時間程度とする。
 - 長期休業の取り組み
夏季休業、冬季休業それぞれに3日以上の上の学校閉庁日を設定する。

- 時間外勤務の上限
時間外勤務（休日労働を含む）を、月45時間以内とする。
- 時間外勤務の削減目標
最終退校時刻を遅くとも19時30分までとする。

石井 正職員には、扶養通勤、期末、寒冷地、勤勉などの手当があり退職金も支払われている。県内自治体の中には、こうした正職員と臨時職員との格差をいくらかでも是正するために工夫を凝らしている所もある。臨時職員に対し、賃金以外の手当なしを今後も続けるのか。工夫、改善を図る計画意欲があるか。

町長 賃金は単価を上げてきており、他と比べ低い方ではない。平成32年4月1日より会計年度任用職員制度が施行される。各地方公共団体により異なっていた勤務条件などについて統一的な取り扱いを定めるもので、賃金以外の手当も支給しなければならぬ。待遇は大きく改善される。

これも質問
「旧小学校に小規模で簡易的な宿泊施設を」質問した。



えんどう 遠藤
まさかち 政勝
議員

ふるさと納税、おいに活用を 返礼品など幅広く検討する

遠藤 2008年から始まった「ふるさと納税」制度。10年を経過し、地方自治体への寄附額も3千6百億円。政府は抜本的な改正をし今後も継続する。町の対応はどうするか。

町長 生まれ育ったふるさとを応援するため、納税者が市町村を決定し、自治体が国民にアピールする。地域のあり方を考える制度。税収を集めるだけでなく、特産品、町のPR、返礼品も重要。町全体の力で対応。自治体間の競争もあり、経費もかかっている。町で活用できる金額は寄附金の45%、返礼品の費用は38・5%、町ではトンとみている。

遠藤 町のこの制度の受け入れ額は10件の174万円。この実績をどう見ているか。

町長 県内でも低位である。特産品に力を入れてきたが、業者からは、返礼品にとの声がない。現状は送るものがない。米から始めた。つく人も一緒にやっていかないと難しい。全体が頑張っていないと制度の活用はできない。無いからやらないのではなく、少しずつ伸ばしていきたい。

遠藤 町の返礼品は何か。開発まで時間が必要とすれば、何か他を考えているか。

町長 PRは町のホームページ。今後はふるさと納税サイトを活用したい。返礼品は町広報1年分送付。28年からは、お米10kg、試供品のブルーベリージャムも送っている。他市町村はサービスとして高齢者の見回り、墓清掃等を実施している所もある。幅広く検討したい。

※ふるさと納税制度は、地方で生まれ育った人が、その後進学や就職を機に地元を離れ、納税は就労先に。自分達を育ててくれた故郷に自分の意思で納税できる仕組み。寄附をすると申告により住民税の控除、所得税の還付を受ける。特産品の返礼もある。生産者は販売促進、自治体は歳入の増加となる。

穴ぼこ等の 維持補修の予算は 早期対応、補正予算でも



返礼品（井川清流米、ブルーベリージャム）

遠藤 穴ぼこ事故・道路管理瑕疵の事例があるのか。

町長 道路管理瑕疵については、平成25年12月に羽立地内の道路の陥没でタイヤが破損した例がある。過失割合は町が50%、利用者が50%であった。

遠藤 カーブミラーの補修設置の予算措置は。補修は実績をみて計上したら。

遠藤 暖冬で雪解け早く、3月には穴ぼこが見られる。町民が毎日利用する道路、早期補修すべきではないか。

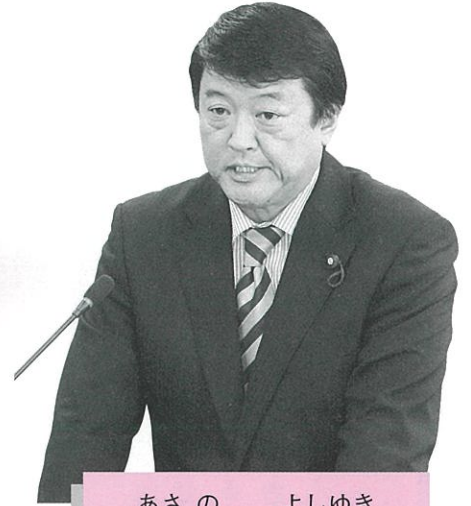
町長 今年の春先の補修が遅くなった事には、お詫びしたい。補修については、町民からの通報と職員の道路パトロールにより把握している。危険性を考え、随時補修している。予算は12月にも計上、状況を見て、3月にも補正をする。

町長 設置については各町内会からの要望により検討した上で計上。補修事業は年度途中では予算計上していない。早期の対応を考えたい。

※道路の管理瑕疵とは。道路などが通常有すべき安全性を欠き、他人に被害を及ぼすと管理瑕疵が問われる。したがって管理瑕疵が問われることがないよう、適切に道路を管理することが必要。

一般質問

旧小学校の利活用は 設備の更新含め検討



あさの 浅野
よしゆき 義幸
議員

浅野 旧小学校は部屋数もあるし色々な活

用方法が考えられる。例えば企業誘致や防災倉庫など、また水道がある給食調理室・理科室・家庭科室は別の利用方法がある。その他の教室は各種団体や生涯学習など公民館活動にも使用出来、貸し出しても良いのではないか。管理体制も役場直営でなくても社協のような団体へ委託も有り得る。町では、ある程度の方向性は決まっているか。

町長 まずは、校舎にある物品を今年度中に整理したい。旧小学校



どう活用されるのか旧小学校

は国花苑に隣接しているので利活用について国花苑の将来像のグランドデザインの中で考えたい。また30年2月に検討委員会を立上げ議論しているので、年度内にまとめられる意見を参考にしたい。具体的な方向性を検討する。施設も老朽化が進み給排水施設の更新をどうするか踏まえ調査を実施し早くに結論を出し、活用的前提となる設備の更新を含めて検討を進めていきたい。

町の財政は 農業分野等の支援も考える

浅野

魁新聞で県内市町村の財政の弾力性を示す経常収支比率が掲載され、一般財源に占める人件費、公債費などの義務的経費の割合の数値が高い程財政が硬直化し、自由に使える予算が少ない。我が町は前年比1.3%増だが県内で一番低い比率。今後、地方交付税は減少見込み、税収も増える見込みがない。ある程度の借入も必要ではないか。そこで町民が恩恵を受ける事業を実施することも考えられるのでは。

町長

これまで実施してきた人件費をはじめとした歳出の抑制や繰上げ償還による公債費の適正管理等の効果により、



まつだ 松田 弘 議員

町長選、出馬表明を 2期目に出馬する

松田 多くの町民は、現町長の続投を望んでいると察するところであり、再選への意志を固めたとの報道掲載もあった。この4年間の施政の総括と今後への思いを含め、正式な出馬表明を求める。

町長 1期目の施政としては、人口減少社会に対応した取り組みを進め、義務教育学校の開校、子育て支援多世代交流館「みなくる」開設など子育て環境の整備に最も注力した。

今後の課題としては、産業振興○空き家問題など住環境の整備○日本

国花苑の再整備と隣接する旧小学校舎の活用などがあ
る。身の丈に合った施政に努め、健全な財政運営の下、全力で町政発展に取り組みたい。

主要未舗装町道の解消を 事業実施順位は低い

松田 町道の総延長及び舗装率はどれほどか。また、他市町へ連なる未舗装町道は舗装すべきではないか。

町道新屋敷・飯塚線の洲崎橋南側400m先から飯塚境間約800mが砂利道の現状である。当該町道は飯塚浜と浜井川を結ぶ古くからの道路として利用されている。農地内を貫通する道路であるが、一般車輛の通行も多く、夏期には砂塵を巻き上げ通行している。その為道路に凹凸の発生等傷みが早く、毎年砂利補給がされている。道路に接する稲作地には、通行

車輦が弾き飛ばす石が稲体に付着し、コンバインの歯を傷めるなど、耕作者が難儀している。また、他市町へ連なる町道は、国道、鉄道に障りが発生し、通行・横断困難が発生した場合の代替道としての役割を果たすものと考えられる。安全安心を標榜する町としては、舗装化を進めるべきと考え、町長の考えを伺う。

町長 町道は実延長12.9km舗装率は84.6%となっている。

質問された砂利道に面した農地への石飛散で難儀している旨の話は私も届いている。しかしながら舗装工事事業採択の優先順位としては、農地に属した道路でもあり低い。質問された砂利道に面した農地への石飛散で難儀している旨の話は私も届いている。しかしながら舗装工事事業採択の優先順位としては、農地に属した道路でもあり低い。

松田 町道を幹線1級、2級、その他と分類し、各々の実延長、舗装率、路線数が29年事務報告書に記載されているが、これから察するに、当該道路は、「その他」に位置付けられていると見る。分類の基準とその運用を伺う。

町道を幹線1級、2級、その他と分類し、各々の実延長、舗装率、路線数が29年事務報告書に記載されているが、これから察するに、当該道路は、「その他」に位置付けられていると見る。分類の基準とその運用を伺う。

町長 地方生活圏の基幹的道路網を形成するために必要な道路で、幹線1級、幹線2級の基準が各々5、6項目規定されており、それ以外の道路が「その他」に分類される。この基準を勘案し、町で定めている。詳細は後で報告させてもらうが、集落(50戸以上、25戸以上)区分及び、集落と主要交通流通施設、主要公益的施設、または主要生産施設とを連絡する道路か。及び国道、県道、幹線1級町道とを連絡する道路であるか等を分類の基準としている。



飯塚境に通じる砂利町道

私の

街道「親睦協力隊」について



街道町内会長

藤田

馨 かおる

早いもので、町内会長として3年が過ぎようとしています。この間様々なことがありましたが、皆さんの協力をいただき、何とか務めてまいりました。

さて、高齢化の進行や防犯・防災といった観点から町内会の重要性はますます高まっておりますが、役員や活動の担い手不足が大きな課題となっております。

そんな中で街道町内では、町内会におけるイベントの企画・運営や各部会の活動支援を目的に、無理せず、自分の都合の良いときに、出来る範囲で、をモットーとした「親睦協力隊」を四年前に結成しました。10名ほどでのスタートでしたが、町内通信などで呼び掛けたところ、趣旨に賛同される方が徐々に増えて、

現在は23名で活動しております。

今年度の具体的な活動は「夏の納涼祭の運営」「運動広場等の草刈りやアメリコ防除への応援」「運動会でのテント設置」など、人手が必要になった時に協力をお願いしました。

また、協力隊には「街道自主防災会」の中心メンバーにもなっていたいただいております。昨年五月の豪雨では、町内に公民館への避難を余儀なくされた方もおりましたが、その避難誘導や被災家屋の後片付けにも大きな力を発揮していただきました。

「親睦協力隊」の活動を契機に、町内会活動への理解やお互いの親睦を深めていただき、これからの町内会活動を担っていたいただければと期待しているとあります。

議会のうごき

- 9月18日 井川町・潟上市共有財産管理組合臨時議会 (役場大会議室)
- 10月11日 八郎湖周辺清掃事務組合議会議員研修視察(～12日) (宮城県石巻市)
- 10月15日 秋田県町村議会議長会理事会 (役場大会議室)
- 10月16日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合研修視察(～17日) (埼玉県)
- 10月20日 いかわを拓く町民のつどい (農村環境改善センター)
- 10月22日 第3回井川町議会全員協議会及び意見交換会 (役場議場)
- 11月10日 第30回首都圏ふるさと井川会総会・祝賀会 (東京都：品川プリンスホテル)
- 11月12日 平成30年第6回井川町議会運営委員会 (役場正副議長室)
- 11月12日 平成30年第2回井川町議会臨時会 (役場議場)
- 11月13日 議会だより編集委員会検討会 (役場小会議室)
- 11月21日 第62回町村議会議長全国大会・第43回豪雪地帯町村議会議長全国大会 (東京都：NHKホール)
- 11月26日 秋田県知事との行政懇談会 (秋田県市町村会館)
- 11月28日 平成30年第7回井川町議会運営委員会 (役場正副議長室)
- 11月28日 議会だより編集委員会(以降5回) (役場小会議室)
- 12月5日 平成30年第4回井川町議会定例会(～7日) (役場議場)
- 12月20日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会 (八郎潟町役場)
- 12月21日 八郎湖周辺清掃事務組合議会定例会 (クリーンセンター)
- 12月21日 湖東地区行政一部事務組合議会定例会 (湖東消防本部)
- 12月27日 平成30年第8回議会運営委員会 (正副議長室)
- 12月27日 平成30年第3回井川町議会臨時会 (役場議場)

編集後記

いつも紙面をご愛読頂きありがとうございます。皆様に見やすく、分かりやすい紙面づくりをと編集委員一同研修を重ね、少しずつですが内容に変化を加えております。その辺も感じて頂ければ幸いです。本年も皆様にとりまして良い年でありませうとご祈念申し上げます。(浅野 義幸 記)



- 副委員長 松田 弘咲
- 委員長 浅野 義幸
- 委員 遠藤 政勝
- 委員 渡部 豪士
- 委員 伊藤 俊郎
- 委員 藤田 俊悦
- 委員 湊 文博
- 発行責任者 藤田 俊悦